

1 奨学金・ローン

奨学金には、渡航前またはすでに留学中の人を対象に、日本国内で募集されるものと現地で募集されるものがあります。一般的に、語学留学→大学学部留学→大学院留学という順で、応募できる奨学金の種類は段階的に増えていきます。日本で募集される奨学金は渡航前の人を対象としているものが多く、留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものもあります。奨学金以外には、金融機関の教育ローンを利用する方法もあります。情報収集などの事前準備には十分に時間を取りましょう。

奨学金・ローンの情報収集の際には以下のことに気を付けましょう。

- ・返還義務の有無:給付型(返還義務なし)か、貸与型(返還義務あり)か。
- ・学校選択、入学手続き:本人が行うのか、支給団体が行うのか。
- ・学力や年収の基準:成績優秀者に与えられるのか、経済状況に応じて与えられるのか。

海外留学のための各種奨学金制度

(1) 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金

日本学生支援機構の奨学金には、**給付型**および**貸与型**(無利子・有利子)があります。詳細は、P.58～P.59をご覧ください。

(2) 地方自治体の奨学金

日本国内の地方自治体や国際交流協会などが、住民やその自治体に関係のある人を対象に実施しています。ほとんどが給付型ですが、一部、貸与型もあります。

(3) 外国政府などの奨学金

外国政府や公的関係機関がその国・地域の大学などに留学する日本人を対象に実施しています。すべてが給付型です。

(4) 民間団体の奨学金

民間企業・団体の奨学金は、専攻分野や留学対象国・地域などに条件を設けて実施しています。ほとんどが給付型ですが、一部、貸与型もあります。

公益財団法人助成財団センターの「民間助成金ガイド」には、日本の助成財団による海外留学に限定されないさまざまな助成制度が掲載されています。

(5) 日本の大学などの奨学金

日本の大学などが、交換留学や私費留学する在学学生を対象に実施しています。詳しくは、在籍する大学などにお問い合わせください。

(6) 海外で募集される奨学金

海外で募集される奨学金には、留学希望先校の奨学金(授業料減免なども含む)と、現地の研究機関や民間の団体による奨学金があります。詳しくは、駐日大使館や公的機関のウェブサイトから情報を収集しましょう。

奨学金以外の資金(教育ローン)

(1) 日本政策金融公庫の「教育一般貸付(国の教育ローン)」

教育ローンコールセンター:0570-008656(ナビダイヤル) 03-5321-8656(公衆電話などから)

(2) その他の金融機関の教育ローン

留学に利用できるものもあります。詳しくは各金融機関にお問い合わせください。

奨学金に関する主なチェックポイント

- 返還義務の有無
 - 給付型
 - 貸与型
 - 有利子
 - 無利子
- 応募資格
 - 対象となる学校の種類、課程、専攻
 - 成績
 - 語学力
 - 対象者の国籍
- 応募時期
 - 奨学金の応募と留学希望校への出願を同時進行できるか
 - 奨学金の応募時に入学許可を得ている必要があるか
 - ※ 応募時に入学許可書の提出を求める奨学金もありますが、奨学金への応募と留学希望校への出願を平行して行うことができ、入学許可を得ることを条件に仮合格をだす奨学金もあります。この場合、奨学金の応募締切日が留学開始時期の1年以上前に設定されていることが多く、早めの情報収集が必要です。
 - すでに留学している場合も応募可能か
 - ※ 入学後一定期間経過後に成績優秀者に支給される奨学金もあります。
 - ※ 選考時に日本に帰国する必要があるもの、書類選考のみで帰国せずに選考を受けられるものもあります。
- 所得制限の有無
 - 経済状況に応じて応募可能
 - 所得に関係なく応募可能
- 奨学金提供の条件
 - 研究成果や報告書の提出
 - 授業や研究室の手伝い
- 重複受給の可否
 - 他の奨学金と合わせて受給することが可能か

日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金

給付型

(1) 「海外留学支援制度 (学部学位取得型)」

学士の学位取得を目指し、高等学校などを卒業後に、海外の大学に直接入学する人を対象とした奨学金。申し込みは個人で行います。

(2) 「海外留学支援制度 (大学院学位取得型)」

修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学院に留学する人を対象とした奨学金。申し込みは日本の在籍大学または卒業大学を通じて行います。条件により個人での応募が可能です。

(3) 「海外留学支援制度 (協定派遣)」

日本の大学、大学院、短期大学、高等専門学校 (専攻科を含む。第2年次以下を除く)、または専修学校 (専門課程) が、海外の高等教育機関などと締結した大学間交流協定などに基づき実施する短期間 (8日以上1年以内) の派遣プログラムのうち、JASSO に採択されたプログラムの参加者を対象とした奨学金。詳しくは、在籍する日本の大学などにお問い合わせください。

(4) 「官民協働海外留学支援制度～トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム～」

企業・団体からの支援により “産業界を中心に社会で求められる人材” “世界で活躍できる人材” の育成を目的とした奨学金。学生が計画した留学計画で応募できることや、充実した研修、学生のコミュニティが特徴。インターンシップなども対象となります。日本の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校 (専門課程)、高等学校に在籍する学生・生徒を対象とします。申し込みは日本で在籍している大学・学校を通じて行います。

奨学金を得るために必要な日頃からの準備

- ・ 学業に励み、よい成績を収める (GPA (成績評価値) のスコアが求められることがある)。
- ・ 留学先国・地域の言語を学習し、語学試験・資格試験を受験する (必要なスコアを準備する)。

貸与型

(1) 「第二種奨学金 (海外)」 (有利子)

海外の大学、大学院の正規課程 (学位取得課程) への進学 (入学または編入学) 者で、経済的理由により修学に困難があると認められる人を対象とした奨学金。海外の短期大学などに留学する場合は、海外の短期大学などを卒業後1年以内に学位取得 (学士号) を目的に海外の大学へ編入する場合に限りです。

申し込みにあたっては、海外の大学・大学院に進学する前に申し込む「予約採用」と進学後 (在学中) に申し込む「在学採用」を行っています。

(2) 「第二種奨学金 (短期留学)」 (有利子)

海外の短期大学、大学、大学院への短期留学 (原則として3か月以上1年以内、ダブルディグリー・プログラムは最長2年間) 者で、経済的理由により修学に困難があると認められる人を対象とした奨学金。

日本の学校の正規課程在籍者が対象で、交流協定などに基づく留学、留学先の取得単位が帰国後認定される留学および海外の大学院などでの研究を目的とする留学に限られます。申し込みは留学前に、日本の学校を通じて行います。

(3) 「第一種奨学金 (海外大学院学位取得型対象)」 (無利子)

「海外留学支援制度 (大学院学位取得型)」 (前記 (2)) の採用者で、経済的理由により修学に困難があると認められる人を対象とした奨学金。

(4) 「第一種奨学金 (海外協定派遣対象)」 (無利子)

「海外留学支援制度 (協定派遣)」 (前記 (3)) の採用者 (海外の高等教育機関などへの留学期間が3か月以上1年以内の者に限る。) で、経済的理由により修学に困難があると認められる人を対象とした奨学金。

応募にあたっての注意

- ・ 奨学金提供の目的をよく理解する。
- ・ 書類は不備がないように準備し、簡潔にわかりやすく、指定の字数・枚数を守って正確に記入・作成する。
- ・ 提出前に書類を第三者に読んでもらい、客観的な記述を心がける。
- ・ 明確な研究計画を立てておく。留学後の計画も検討しておく。
- ・ わからないことは問い合わせ、疑問点を解決する。